

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年9月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690102191
法人名	医療法人 萩風会
事業所名	グループホーム 花蓮
所在地	鹿児島県鹿児島市西谷山三丁目1番10号 (電話) 099-203-0567
自己評価作成日	令和4年8月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年9月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

広い公道に面し歩道も広い静かな場所に立地し、近くにはJRの駅(慈眼寺駅)も近い、学校や商業施設等もあり活気のある場所で買い物などの利便性も良い。
ホームは3階建ての2階部分にあり、1階にはメンタルクリニックを併設、適宜専門的な相談も行える。
母体は整形外科で徒歩数分程度のところにあり、変化時など随時相談できるため安心できる。
職員は看護師が多く、日常の健康管理を含め変化時の対応が迅速に行えるよう、主治医との連携やご家族へ日ごろの様子を知って頂けるよう、適宜連絡を行い、入居者・ご家族が安心でき、笑顔のある健やかな暮らしが続けられるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所は、看護師の配置があり日常の健康管理や利用者の体調変化に速やかに対応できる体制がある。また、終末期の支援にも取り組んでいる。介護職員は、夜間の対応に看護職と連携を取り何時でも対応できる取り組みをしている。終末期は、利用者及び家族にとり重要な意味を持つており、利用者及び家族の意向に沿った支援になるように努めている。
- ・利用者の権利擁護に配慮した支援を目指している。毎月の勉強会は、自分で学習し内容を報告している。全員で意見交換できる取り組みをしている。
- ・職員の支援が利用者にとって不穏な言動になった場合、自分で振り返りができる様にしている。研修の内容から気づきができ、新しい発見につながる育成をしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>法人理念「一、家庭的な雰囲気」「二、地域とのふれあいを大切に」「三、一人ひとりの個性を尊重」を基本に、職員全員で検討した、事業所目標「アットホームな雰囲気を大事にしつつ、一人ひとりが健やかに暮らせる」を達成できるよう努め、毎月のミーティングで共有している</p>	<p>理念は玄関口に掲示し、何時でも理念を確認できるようにしている。毎月のミーティングは、事務長も参加し意見交換をしている。年に1回理念の振り返りを実施し、具体化した実践につながる取り組みをしている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>町内会に加入しているが、コロナ禍にあり、開催行事の中止も多く、地域交流は少ない</p>	<p>町内会に加入し、回覧板や町内からの地域連絡がある。コロナ禍の為、地域行事は自粛している。町内会長や民生委員との連絡は常時行っている。花見の件等で近隣との交流する機会があり挨拶をしている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>コロナ禍にあり活動的な地域貢献は少ない、定期的に町内会長や地域の民生委員と連絡を取り、相談の際は対応できるようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>コロナ禍にあり、感染防止のため、一同を介しての運営推進会議は控え、活動報告など書面での報告とし、電話やFAXなどで、ご意見や要望などを聞けるようにしている</p>	<p>2ヶ月に1回入所者状況・活動報告・事故・ヒヤリハット報告等の書類を作成し、委員宅へ訪問して情報交換をしている。電話FAXでの意見や要望等を聞き対応している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>長寿あんしん相談センターへ定期的に運営推進会議の報告などを行っている、福祉事務所の生活保護担当の方へも出向いて情報提供を行い、情報の共有を行っている</p>	<p>介護保険の更新時や相談事がある時に行政の窓口に出向いている。生活保護の件で福祉事務所での情報の共有をしている。オンラインで市の研修に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>毎月のミーティングや2か月に1回の委員会を開催・事業所内研修等で「身体拘束をしない介護」に努めている</p>	<p>マニュアルを基に毎月ミーティング等で勉強会をしている。2ヶ月毎に委員会を開催し、身体拘束をしない介護に努めている。言葉遣いについては職員間でも振り返りを行いお互いに注意している。日中の施錠はしていない。外出希望者への対応は、外気浴をしたり、事業所周辺の散歩を一緒にしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内研修や2か月に一回の委員会を開催、不適切ケアがないかなど、職員間でも意見が言い合える関係を作り、虐待防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所内で研修を行い、必要時は活用できるようにしている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際や制度改正時など、重要説明事項及び契約の内容を丁寧に説明、不明点などはその場で確認し納得できるよう説明を行っている、契約書等はそれぞれ2部作製し、同意の署名捺印を頂き、1部を交付している		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コロナウイルス感染蔓延防止のため、面会を制限させていただいている、定期的や必要時はご家族へ連絡を行うなど、入居者・ご家族との良好な関係を構築できるよう務め、ご意見を頂けるようにしている	利用者は、日常のケアの中で聞き取りを行っている。家族にはコロナ禍であり、面会は玄関口の窓越しの面会を実施している。事業所内で写した写真やお便りを渡して、要望や意見等を聞いている。意見箱設置や苦情解決体制等を整備して、意見を述べやすい仕組みを作っている。要望等は運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のミーティングに法人代表が出席し、月1回の法人全体の会議に参加、自由に意見を言える場を設けている	法人全体の管理者会議等に参加して意見を述べている。毎月のミーティングでは議題を決めて、自由に話し合っている。管理者は、常時職員からの相談が受けられる体制である。介護ケアに関する事や勤務に対する相談が多く運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	就業年数や資格などにより手当を支給、職員の生活スタイルにより、就業時間も考慮している、事業所内の不具合などは即対応している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入職時研修を実施、研修報告などで本人の気付きを大事にしている、事業所内研修では、参加するだけの研修ではなく、担当制とし、課題を自分で調べ、学習した内容の発表の機会を作っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍で研修参加の機会は少ないが、地区の協議会の連絡会メールで情報を共有、また同法人内のグループホーム間で研修会などの検討をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居申し込み後幾度か本人及びご家族との電話での連絡や面談の機会を持てるようにしている、また入院や施設へ入居されている方々については、医療面や介護面の情報も専門職より聞けるよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時など、本人を含めご家族の大変さも理解できるよう、聞く姿勢で接し、安心できるような声掛けに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前情報やアセスメントを行う中で、本人・家族にとって何がより良いかを見極め、必要なサービスの提案ができるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人のできることを、好むことを見極め、一緒に掃除や片付けを行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	サービス計画書に家族の役割を位置づけ、入居させる家族の申し訳ないとの思いが軽くなり、適度な距離感を持つことで本人との関係も良好に保てるようにしている、コロナ禍で面会を制限しているが、写真や電話での対話ができるようにしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍にあり面会制限や外出は自粛している、入居者間でも職員も参加し故郷の事や昔話を聞けるようにしている、電話の際には本人と話ができるようにしている	友人等の面会や外出は自粛している。家族の面会時に話をする機会を作ったり、電話等で関係性が途切れないように支援している。3階の通所リハビリセンターの休日にリハビリ室を活用し、利用者が楽しく過ごせる取り組みをしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	無理強いせず、過ごしたい場所で居られるようにしている。ほとんどの方はホールで過ごしている、入居者同士が話しやすい雰囲気ができるよう職員も参加している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院等で退去となった際でも、医療機関との連携やご家族との連絡を継続している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意思表示が困難な方でも、ご家族からの聞き取りや本人の表情・言動などで、少しでも思いをくみ取れるようにしている、夜間帯の状態は夜勤者の申し送りなどで把握し、ミーティングやカンファレンスを開催し検討している	日常生活の中で、ゆっくりしている時や朝のバイタルチェック時・入浴時等に日頃の様子を観察し、職員間で話し合って支援している。困難な場合は、表情・仕草・動き・家族への聞き取り等により、本人の思いに寄り添い支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に面談や電話などで、生活状況など情報を収集し、介護保険サービス利用があれば、担当ケアマネジャーなどからも情報を得られるようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察・記録の中の情報収集や申し送り、毎月のミーティングで情報を共有できるよう努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のミーティングで入居者全員の情報を共有、目標見直し時など担当者会議やカンファレンスを開催している	本人や家族に希望や要望を聞き主治医の意見をもとに職員で話し合い介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に、見直しは6ヶ月毎に実施している。更新時や変更時にはカンファレンスを開いている。変化時にはその都度、見直しをして、家族へ同意を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日勤から夜勤、夜勤から日勤への切れ目のない申し送りや、個々のケース記録で情報を得る、必要時はカンファレンスを開催、伝達事項は申し送りノートで共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	定期受診や必要な病院受診に、家族が支援困難な際には事業所で対応している、本人の生活状況に合わせ居室の様様替えなどを行い気分転換が図れるようにしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍にあり、事業所への立ち入りは制限しているが、感染対策を徹底し、要望に応じ訪問マッサージなどを受け、気持ちよさや満足を得られるようにしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医を大切に、受診の際には書面での情報提供を行っている、家族の要望により、在宅医の紹介などもお行っている	本人及び家族の希望するかかりつけ医になっている。協力医療機関の場合は、往診体制になっている。24時間医療連携体制である。それ以外の受診は家族同行となっている。受診の結果は、家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	職員は看護師が多く、日々の健康観察を行い、適宜主治医へ報告を行い適切に対応できるようにしている		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院当日に入院先の病院へ連絡し、ホームでの生活状況など必要な情報提供をお行っている、入院中も適宜連絡を行い、情報収集等連携を図っている		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居時に重度化した場合の対応に関する指針について説明し同意を得ている、状態変化時はご家族へ連絡を行い、希望がある際には感染対策を徹底し、短時間ではあるが面会ができるようにしている	入居時に重度化や終末期の指針を説明し同意を得ている。状態変化時は、その都度説明し同意を得る様になっている。看取りの医師は原則かかりつけ医となっている。常勤の看護職がおり、安心につながっている。看取りの事例がある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	事故発生時などを含め、対応方法など事業所内で研修を行い、職員全員が周知できるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回消防訓練を含め、地震や災害時の訓練を行っている、消防機器点検も定期的に行い、緊急連絡網に沿って連絡体制も整えている、地区の町内会長や民生委員等の協力も得られるよう、日々の関係づくりに努めている</p>	<p>年2回消防訓練を自主で実施している。水害時は3階が避難場所となっている。火災や地震時は駐車場が避難場所である。緊急連絡網の中に民生委員や町内会長もあり、事前の連絡も取っている。備蓄として、乾パン・水・缶詰・レトルト食品等があり、3日分ぐらい準備している。コンロ・懐中電灯・オムツ等もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>接遇や人権擁護などの研修を事業所内で実施、日ごろから職員間でもお互いの言動が気になる時には注意しあえる関係作りを行い、急がない、待つ介護に努めている</p>	<p>利用者の状況に合わせて、排泄介助・入浴介助・居室での過ごし方を支援している。介助の場合は、羞恥心やプライバシーに配慮している。対応の仕方や言葉遣い等で気になる場合は、管理者が指導している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>その方に応じた言葉がけを心掛け、今したいことを尊重、食事の好みなどにも配慮した内容を取り入れている</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>それぞれの過ごし方を優先、一人で居室で過ごしたい方は、適宜訪室し見守りを行う、レクレーションや洗濯物たたみなど、無理強いすることなく、出来る時・したいときに参加できるようにしている</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>朝夕、更衣の声掛けを行う、おしゃれに気を使う入居者と、その日の衣服を選んだりする</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	アレルギーの有無や嗜好を聞き取り、入居者と食べたい食事のメニューを決めることもある、行事食など目でも楽しめるよう色合いも工夫、下膳やお膳拭きなど一緒に行っている	法人の栄養士が献立を作成している。昼食のおかずは法人の方で、ご飯と味噌汁を事業所で作っている。食事形態にも対応し、アレルギー食や代替え食など個別に対応している。誕生日は散らし寿司、手作りケーキの提供をしている。利用者は台拭きや下膳等を一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食事量をチェック、日・祝日以外の昼食は栄養士の献立で調理したものを提供、10時・15時、入浴前後の水分補給及び、夜勤帯でも就寝前や早朝に水分を提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後は口腔ケアの促し、自分で困難な方は職員が介助を行っている、必要に応じ訪問歯科診療を受け、口腔ケアの指導なども受けられるようにしてる		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	失禁の少ない方は、昼間だけでもトイレで排泄できるよう、布のパンツで過ごしていただき、声掛けやトイレ誘導を行っている、本人の能力を見極め手すりなどを使用することで動作が自立できるようにしている	排泄パターンを把握し、日中はトイレ誘導にて排泄を促している。夜間のみポータブルトイレの利用者がいる。ポータブルトイレに常時座る習慣をつけることで排便が可能になった事例がある。2人介助による排泄も支援している。表情や動作で失禁を把握し居室で介助している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事は消化の良いものを、野菜などが多く摂れるよう工夫している、水分補給や運動も心がけ、便秘傾向にある方は主治医へ相談している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を計画している、入浴日には声掛けを行い、本人のタイミングで入浴できるようにしている、今は入りたくないという方でも、時間をずらすなどして入浴、特に冬場は入浴剤等を入れ「気持ちよかったー」と満足を得られている	週3回の入浴を支援している。健康チェックや身体状況を把握し、利用者の尊厳や羞恥心に配慮した支援をしている。ゆず湯や好みのシャンプーなどを工夫している。拒否の場合は、間を取ったり待つ姿勢で支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状態に応じ就寝できるようにしている、消灯になっても眠れない方は、ホールで職員と一緒に対話などし安心できるようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師居宅療養管理指導を受け、薬の効能や副作用なども聞くことが出来ている、処方薬は個々に分かりやすく飲みやすく分包している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	居室で自分の好きなように時間を過ごしたい方、乾いた洗濯ものを几帳面にたためる方、縫物をする方、居室の掃除をすることで職員に感謝され、喜びを感じる方などさまざまであるが、本人の役割につながるよう努めている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍のため、外出はほとんど行っていないが、同建物の3階が日曜日や祝日に休みの時、ベランダから見える景色を眺めたり、近隣の人通りの少ない住宅街を短時間散歩を行っている	事業所周囲の散歩や3階のセンターを活用して、レクリエーションや運動をしている。洗濯ものを利用者と一緒に干しに行ったりしている。季節の花をフロアに置き季節を楽しんでいる。医療機関受診やリハビリに家族同行で外出している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持している方はほとんどいないが、掃除や入浴支援を行ったとき、「いくらですか」と、お礼を支払いたい方に、大切に使いましょう等の声掛けを行っている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族からの電話の取次ぎや、携帯電話を所持している方へは充電や、電話がかかってきたときの応答などの支援を行い、家族へ手紙を出したいという方に、住所などを書く支援を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日の掃除などで清潔が保てるようにしている、事業所内にオゾン発生器を2台設置している。ひな祭りや七夕、クリスマスやお正月など、入居の方々で作成した作品の飾りつけなどを行っている、感染対策のため窓を開け換気を行い、アルコール消毒を実施している</p>	<p>フロアは窓が多く明るい。利用者たちが話をしたりテレビを見て過ごしている。廊下は手すりがあり歩行練習の場になっている。オゾン発生器2台を設置し、事業所内の空気の入替えを常時実施している。掃除も行き届き清潔を保っている。キッチンから料理の臭いがするので、利用者は興味と関心を持って食事を楽しみにしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ほぼ決まった席でお互いが馴染となり安心できるようにしている</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時には本人が大事にしていたものや写真など、家族の協力で持参していただいている、ベッドや家具も本人の身体状況に応じた配置としている</p>	<p>居室は、ベッド・椅子・タンス・エアコンを設置している。寝具類・家族の写真・テーブル・テレビ・カセットデッキ等を持ち込み、写真と会話したり自作の作品を飾って眺め、ゆったりと過ごしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室の入り口には本人、家族の了解を得て名前を書き、自分の居室と分かるようにしている、自分の居室と分からず混乱する時は必要に応じ誘導や、目印になるような飾り付けをしている</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない